

11月12日（火） 6年生 総合「伝統芸能 能の体験」



6年生はオリパラ教育の一環として、能楽師の中所 宜夫さんをお呼びし、伝統芸能の能の体験をしました。一人一人が扇を持ち、演目「老松」の一部を2時間みっちり稽古して頂きました。すり足や扇の持ち方等、独特の表現の仕方に驚き苦戦しながらも、授業の最後には代表児童が能楽堂をイメージした舞台上で仕舞を演じました。子供たちからは、「もっと他の演目にも挑戦してみたい！」「難しい言葉が多かったけれど、少し意味が分かった」といった感想がでていました。また、に社会科の授業で、能は室町時代から続いていたことを学んだ子供たち。今日の体験を通して、さらに能ができた時代の背景や受け継がれてきた経緯にも興味をもったようです。能の礼儀作法まで教えて頂き、とても充実した時間を過ごすことができました。